

第1回 B-FORCE SWEL FITNESS NAGASAKI 大会要項

予想賞金総額：¥500,000

(参加チーム数により異なります)

主催：COACH ISHIBA JAPAN 合同会社
協賛：ヨネックス株式会社 日本バドミントン専門店会
競技名：B-FORCE SWELFITNESS (ビーフォース スウェルフィットネス)
開催日：11月3日 日曜日 種目 男子3ダブルスローテーション 女子4シングルローテーション
11月4日 月曜日 種目 男子4シングルローテーション 女子3ダブルスローテーション
会場：長崎三菱重工総合体育館 (長崎市片淵町2-18 095-862-8810)
開場及び受付：8:45～ 開会式：9:00

試合開始：開会式終了後

参加資格：高校生以上 (バドミントン協会登録は関係ありません誰でもお申込みできます。)

チーム構成：4シングルチーム構成は4人以上6人迄とする。(年齢及び所属は一切問いません)
3ダブルスチーム構成は6人以上8人迄とする。(年齢及び所属は一切問いません)

競技規則：B-FORCE 規定による。

服装：フィットネスであれば可(バドシャツ、クラブシャツ、その他シャツをチーム
で揃えてください、メーカーは特に規定はしません)

競技方法：参加チームにより得点の変更があります。

参加費：男子3ダブルスローテーション AMD 6,000/1チーム (6人～8人迄)
女子4シングルローテーション ALS 6,000/1チーム (4人～6人迄)
男子4シングルローテーション AMS 6,000/1チーム (4人～6人迄)
女子3ダブルスローテーション ALD 6,000/1チーム (6人～8人迄)

お申込み期限：2019年5月21日～9月14日まで (参加予定数を満たした時点で締め切りとします)

お申込み方法：メールにて代表者の方でお願いします。 <https://ws.formzu.net/fgen/S39837505/>

お申込みメール入力事項：
{ 代表者お名前、チーム名、代表者住所、
代表者携帯番号、参加種目、各メンバーのお名前、年齢、性別 }

個人エントリー：9月締め切後、空きがあった場合シングルは1人から、ダブルスは2人組から受け付けます。
*詳しくは締め切り後HPに掲載されますが申し込み人数によっては受付出来ない事があります。

振込について：参加お申込み決定したチームにお知らせ後お振込みをお願いします。

お振込み後のキャンセルは返金できません。

お振込先：三菱UFJ銀行 多摩センター支店 591 普通 0615564 (振込手数料はご負担ください。)
楽天銀行 第2営業支店 252 普通 7806685 (振込手数料はご負担ください。)

※お振込みは代表者名でお願いします。(2種目の場合は合計金額でお振込みください。)

主催者：COACH ISHIBA JAPAN 合同会社

ホームページ：<http://b-force.ishiba.jp/>

所在地：東京都多摩市落合 6-15-3-105

TEL： 042-400-6862

メール：b-force@ishiba.jp

営業時間：月、火、木、金 10：00～17：00

注意事項

1. 駐車について：各チーム1台に乗り合わせをお願いします。
2. 入館時間：8：45分
3. 1階下足箱について：使用は禁止となっていますので各自持ち上がってください。
4. 飲食について：1階オープンスペースは飲食禁止となっています。3階ギャラリーのみ飲食可となります
5. 喫煙について：体育館3階喫煙室のみとなります。
6. 煙禁止場所：玄関外周辺及び駐車場での喫煙は禁止となります。
7. 2階男女更衣室について：使用禁止となります。
8. ゴミについて：必ず各自ゴミはお持ち帰りください。
9. 怪我には十分ご注意ください。（隣り及び後方コートの選手に注意）
10. 次の選手は同チーム選手がシャトルを打つまではコート内に入らない事。
11. 大会中の事故については、1日保険の限度を越えてその責を負わない。
12. 参加者は、各団体または個人で傷害保険に加入してください。

※事故等についての責任は負えませんので、各自で注意して下さい。なお、傷害保険に加入していますので、事故があった場合は直ちに申し出て下さい。

備考

- 1、肖像権に関する取扱い主催者が撮影した写真はお知らせ、ホームページ等で公開されることがあります。
- 2、大会参加に際し提供される個人情報には本大会に利用するものとし、これ以外に利用することはありません。
- 3、メンバー変更は当時の受付可

<B-FORCE 競技規定>

サービスについて

1. サーブを打つ場所は通常のサービスラインとダブルスバックライン2か所から選べる。
2. ダブルスバックラインからはアタックサーブが打てる。
3. アタックサーブの時は助走しても構わない。
4. アタックサーブの場合ジャンプスマッシュでジャンプの時ラインを踏んだり超えてはいけない。
5. ジャンプアタックサーブで着地がラインを超えていても良いが着地後に打った場合はフォルトとなる。
6. ダブルスのサーブを打つ者はどちらが打っても構わない。
7. アタックサーブでネットに触れてコートに入ってきたネットインはサービスラインを超えてなくても得点となる。
8. 通常のサービスラインからのサーブも選択できる。
9. 前からのサーブの時サーバーは両足が床に接していること。（ジャンプしてのサーブは出来ない）
10. 前からのサービスの場合オーバーハンドはフォルトとする。
11. フットフォルトの規制はないがヒットの時ラインを踏んでいたり越えてはならない。
12. 前ラインからサービスでネットに触れて入ったネットインはサービスラインを超えていなくても得点となる。
13. ひと振りであること。（但し一振りの途中で止めた時点で一振りとならない為フォルトとなる）
14. シャトルをラケットにホールドはフォルトとする。

15. 主審の判断がつかないときはレッドとする。

その他ルール

1. AMS ALS はシングルスコートとする。
2. AMD ALD はダブルスコートとする。
3. チーム構成は S (4 シングルローテーション) 4 人以上及び 6 名までとする。
4. チーム構成は D (3 ダブルローテーション) 6 名以上及び 8 名までとする。
5. S の場合は 4 名を満たなくなった時点で棄権とする。
6. D の場合は 6 名を満たなくなった時点で棄権とする。
7. 得点は 1 セット目 21 点 2 セット目 21 点 ファイナル 11 点 2 セット先取とする。(どれも延長はない)
8. 点数の偶数の時は右からサーブし、奇数の時は左からサーブをする。
9. 1 打で交代とする。(但しサーブは 1 打に加えない)
10. 3 ダブルローテーションの場合ペアで 1 打とする。(打ってない人もペアで入れ替わる)
11. サービス後相手が返球できず得点の場合は次のサーブを続けて打つことが出来る。
(ダブルスの場合はサーブごとに打つ選手が変わっても良い)
12. ネットタッチはフォルトとする。
13. ネット前でのブロックは可
14. 一振りでのダブルタッチで打たれたショットは可
15. ダイビングレシーブでネットを超えても相手のプレーに支障がない危険でない場合はフォルトにならない。
16. 順番を間違えてプレーはフォルトとする。
17. セット終了するまでチーム内の順番の変更及び補欠選手と交代は出来ない。
18. 順位変更及び補欠選手と交代はセット間の時に行うことが出来る。
19. 1, 2 セットは 10 点差がついた時点でコールドゲームとしてそのセットは終了する。
20. ファイナルセットはコールドゲームはない。
21. 1, 2 セットでは各セットで 1 回 3 点トリプルチャンスを使うことが出来る。
(使用しない場合次セットに繰り越せない。)
22. トリプルチャンスを申請したチームがそのラリーを制した場合は 3 点が与えられる。
23. トリプルチャンスを申請したチームがそのラリーを制する事が出来ない場合は相手に 1 点が与えられる。
24. セット間に 2 分間の休憩が与えられる。
25. ゲーム中は水分補給、タオルは禁止とする。
26. ゲーム中に水分補給及びタオルを要求する場合は相手に 1 点与えればできる。
27. 1 セットに 1 回 1 分間の作戦タイムがとれる。(作戦タイム中は水分及びタオルの使用は可)
28. 汗での床を拭く間は水分及びタオルは可 (但し床清掃終了時再開できない場合はフォルトとなる)
29. 服装はフィットネス仕様であれば可。
30. シューズについてはバドミントンシューズ着用とする。
31. 服装はチームで揃ってなければならない。(シャツに限る)
32. 番号は背番号ではなく前面についていること。ゼッケンやビブス等を各チームで用意しなければならない。
(サイズ等特に規定はなし)
33. S の場合は 1, 2, 3, 4 を前面についていること。
34. D の場合はペアで (1, 1) (2, 2) (3, 3) 同じ番号が前面についていること。
35. プレー中、ラリー中いかなる時でも選手が声を出すことができる。

36. 観客もプレー中、ラリー中に声を出して応援することができる。
37. 観客席での応援で鳴り物を使用することができる。

その他

1. 審判は敗者審判とする。
2. 線審はラインジャッジと逆コートの手順を確認する。
3. 順番を間違えたときは線審が手を挙げてフォルトをコールする。
4. 主審はすみやかに線審のジャッジを両チームに宣言する。